

# 栽培特性に優れるめん用小麦

## 「さとのそら」

みんなで進めよう  
茨城農業改革

農業総合センター 農業研究所

小麦「農林61号」は、様々な用途に使用できることから、実需者からは一定の評価を得てきました。しかし、「農林61号」はコムギ縞萎縮病等の土壌伝染性ウイルス病に抵抗性がない等、栽培（特性）上の問題があったため、品質・収量ともにバラつきが大きく、安定した生産ができる高品質コムギ縞萎縮病抵抗性品種の採用が強く望まれてきました。

そこで、「農林61号」に替わる日本めん用小麦品種として、栽培特性に優れた「さとのそら」（旧系統名：利根3号）を奨励品種に採用しました。

### 「さとのそら」の特徴（農林61号との比較）

コムギ縞萎縮病抵抗性を持ち、安定した生育が確保できる。

播性程度が「」で茎立ちが遅いため、凍霜害（幼穂凍死）を受けにくい。

出穂期は1～4日早く、成熟期は2～5日早い早生品種。

稈長が短く、倒伏に強い。

穂長は同程度で、穂数は多く、多収。

千粒重はやや重く、容積重は同等。

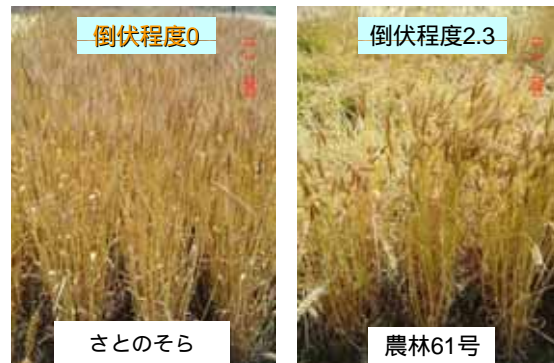
製粉性・うどん加工適性は同等～やや優れる。



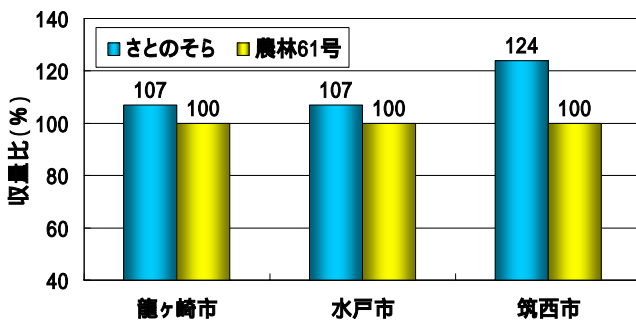
コムギ縞萎縮病発生圃場における生育



茎立ち期前の生育



成熟期前の生育



奨励品種決定調査における収量の比較  
(平成17～19年度、平均値)

うどん生類  
冴えのある明るい  
黄白色

